

# Media-park推進状況& メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言

# Media-park推進状況

# 太秦メディアパーク構想

映画・映像、アニメ、ゲーム等のコンテンツ関係企業、DX・ICT関連企業が集積し、教育、ものづくり、医療、観光等との異分野融合によって、世界をリードするオープンイノベーション拠点へ



教育、ものづくり、医療、観光など大きく拡大する市場における新産業創出

# 京都府メタバース共創プロジェクト「拡別メタバース」

## 社会拡張

-デジタルツイン-

- ▶ 現実世界をより豊かに
- ▶ 現実世界の課題を解決する

## 別世界創生

-狭義のメタバース-

- ▶ 現実世界ではできないことにチャレンジできる世界を
- ▶ 現実世界からのシェルターに

## 社会拡張

- 01 バーチャルプロダクション
- 02 VR教材プラットフォーム
- 03 アバター活用科学捜査
- 04 観光NFT
- 05 Sound Travel KYOTO
- 06 CREATIVE GARDEN KYOTO

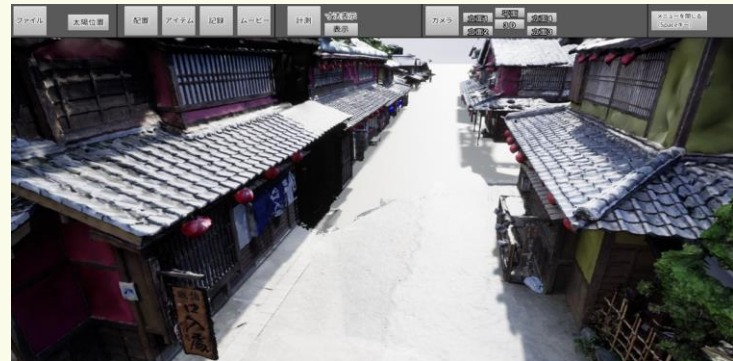
## 別世界創生

- 07 VRボードゲーム
- 08 カメラでのメタバース空間潜入
- 09 リアル感覚アバター
- 10 メタバース空間からロボット操作

# 社会拡張

# 01 バーチャルプロダクション

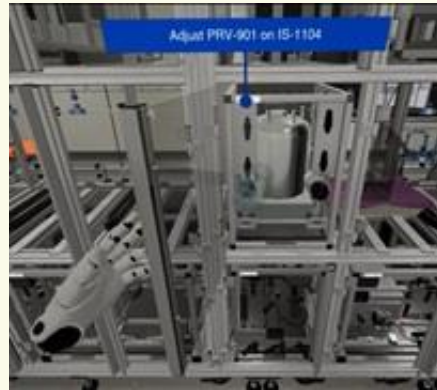
- メンバー 東映、松竹、シュルード設計、キルアフィルム、京都府  
(補助金活用、けいはんなロボット技術センターでの実証等)
- 連携 NHK (実証協力等)
- 取組
  - ・ 映画等の撮影で使用する建物等を3Dスキャンし、デジタルアセットをUnrealEngineを用いて制作。
  - 制作したアセットを活用し、リアルタイム合成の実証
  - ・ 映画制作現場でのデジタルアセット運用が容易となるアプリケーションの開発
- 成果
  - ・ 映画会社作品でデジタルアセット活用
  - ・ テレビ局の大型時代ドラマでのバーチャルプロダクション活用の契機に





## 02 仮想現場で訓練し、実現場をアシストするXR

- メンバー クロスリアリティ、京都府（補助金活用等）
- 取組 VR開発企業に発注しないと制作できない、高度なVRコンテンツを、一般ユーザーがローコードで制作できるプラットフォーム開発
- 成果 開発したプラットフォームを活用し、医学部用のVR教材を開発
- 今後 製造業等での活用展開



VRによる訓練「バーチャルトレーナー」

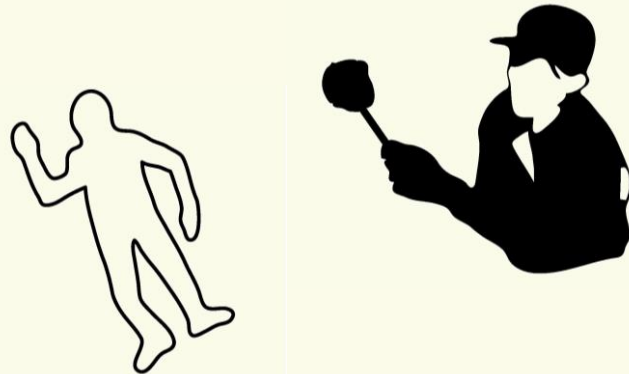


ARによる作業指示「ARアシスト」



## 03 アバター活用科学捜査

- メンバー 府内映像企業、京都府  
(けいはんなロボット技術センターでの実証等)
- 取組 被疑者や被害者等をアバターに置き換え、  
被疑者の慎重・体格等の割り出しや、  
犯行凶器の長さ等の算出
- 成果 現場検証での活用の可能性を検証中
- 今後 発生した事案に対し、現場の証拠保全が難しい場合に、  
空間をまるごとスキャンし、スキャンしたデータを  
現場を再現し、検証や鑑識作業の補助資料へ



# 04 観光NFT

- メンバー SUSHI TOP MARKETING、ビードリーム、ディレクターズ・ユニブ、京都府（補助金活用等）
- 協力 京都タワー、鈴虫寺、京都ハンナリーズ
- 取組 ウォレットを持っていない人でも受け取れるNFTを配布し、観光業へのNFT展開を実証
- 成果



京都タワー  
20日間で5906名（5906個）配布



鈴虫寺  
20日間で70名（70個）配布



京都ハンナリーズ  
2日間で906名（6733個）配布

# 05 Sound Travel KYOTO

- メンバー Spotify、京都府（ロケ誘致等）
- 取組 音声配信サービス「Spotify」と連携し、ポッドキャスト新番組「Sound Travel KYOTO」にて、府内8ヶ所の“耳に沁み入る音風景”作品を、情感溢れるアニメーション付きで配信。  
音声での府内各地の魅力発信を促進。
- 成果
  - ・ Spotifyのポッドキャストチャートで最高位3位
  - ・ 日本に次ぎ、ブラジル、アルゼンチン等の南米各国や、オーストラリアでも多く再生。



# 06 CREATIVE GARDEN KYOTO



- メンバー Skeleton Crew Studio、TOCHKA、京都府（府予算事業）
- 特別協賛 株式会社Psychic VR Lab  STYLY
- 取組 クリエイティブ人材育成の一環として、デジタルアートを、公園や観光名所、交流スペース等に登場させ、各場所での暮らしのシーン（遊び、学習、旅行等）にアートを拡張する「ARアート作品展」を実施

1. 羅絲佳、TOCHKA@梅小路公園
2. Ryo Takegawa from Xorium、京都芸術大学、京都精華大学 @京都国際マンガミュージアム
3. Kozyndan、東野祥子@天橋立ビューランド
4. Achabox@ワコールスタディホール京都
5. 岡田将充（OMD）@ホテルアンテルーム京都



3/14（水）放送 ABC「おはよう朝日です」にて取り上げられました



# 別世界創生



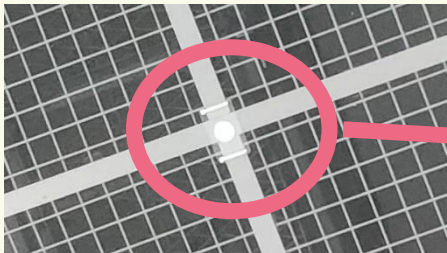
# 07 VRボードゲーム

- メンバー RedefineArts、京都府（補助金活用等）
- 取組 TRPG（テーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム）をVRで表現した「Xpraize」を制作。  
プレイヤーはアバターとなり、ボードゲームの世界へ没入して遊ぶことができる。
- 成果 S T E A Mにてβ版販売開始 ※近日正式販売予定

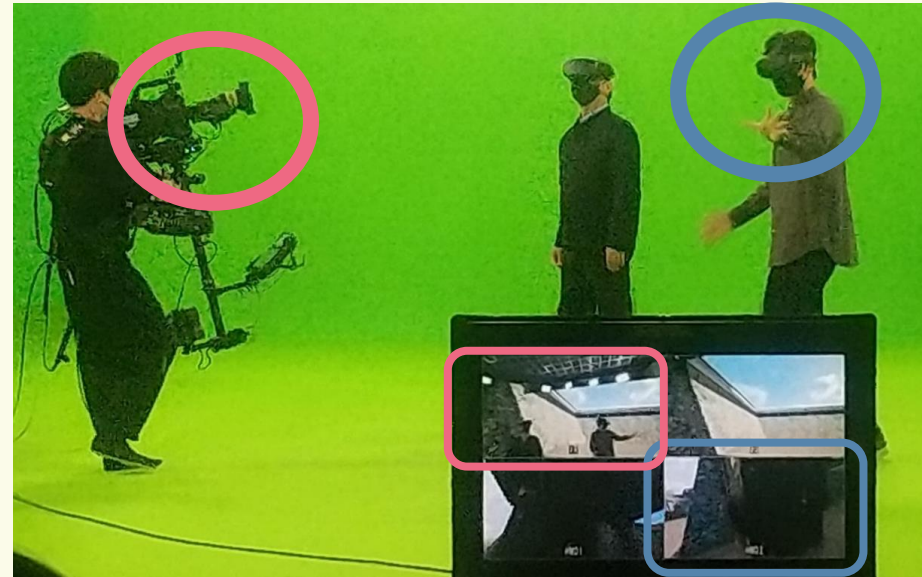


# 08 カメラでのメタバース空間潜入

- メンバー NHK、キルアフィルム、京都府  
(けいはんなロボット技術センター実証等)
- 取組 上記センターにStarTracker (リアルタイムカメラトラッキングシステム) を導入。天井にカメラ位置を把握する300個のマーカ―と4面グリーンバックを備えて撮影。VRゴーグルを装着した演者が、カメラの画面では、リアルタイムでメタバース空間に入る。



天井に備えられた300個のマーカ―を通じて、センサー付きカメラの位置を把握可能





# 08 カメラでのメタバース空間潜入



**NHK**  
大衆放送局

## 歴史探偵

レキシタンテイ

### VR探検! 安土城 信長のワンダーランド

【放送】 **G** 3月15日(水) 午後10:00~午後10:45  
詳しくは番組ホームページをご覧ください ▶

信長が築いた安土城をVR(仮想現実)空間によみがえらせる!



安土城は本能寺の変の混乱で炎上し、2度と再建されなかった幻の城だ。今回は、戦国時代にタイムスリップ。信長に会いに来た武将の気分になって、安土城を観光する。6層建ての高層天守を上ると、天下統一のあとに信長が目指した夢が見えてきた。ライトアップの大イベントを現場で体験。新しいVR歴史調査をお届けする。

3月22日まで **NHK+** でご覧になれます  
放送予定は変更になる場合があります。

■成果 NHK「歴史探偵」にて活用

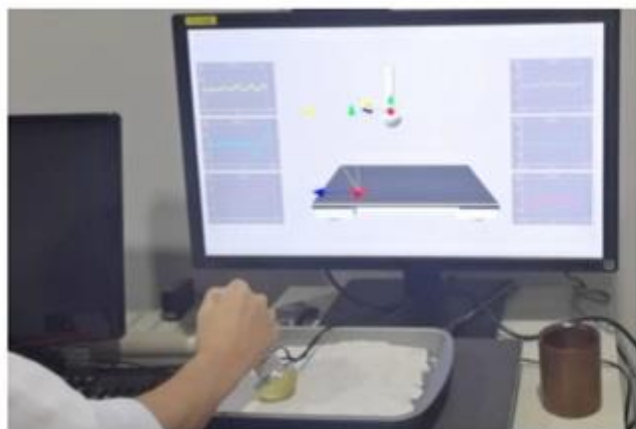
「VR探検!信長の安土城」

3/15 (水) 午後10:00~10:45放送

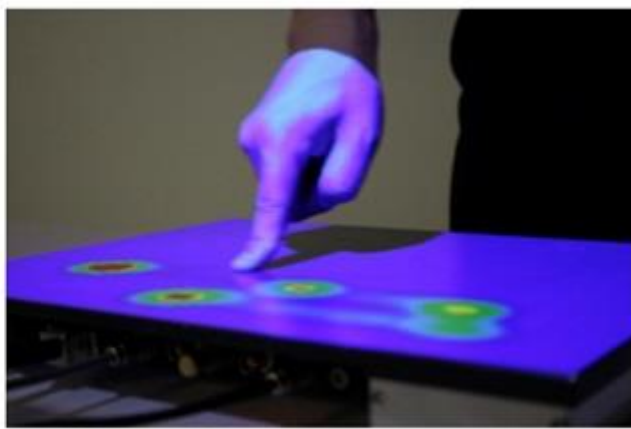
織田信長のシンボル・安土城。  
本能寺の変の直後に姿を消した  
幻の城を最新デジタル技術で再現。  
VR（仮想現実）で探検する！  
信長が夢見た世界が時空を超えて  
よみがえる。

# 09 リアル感覚アバター

- メンバー テック技販、ソリッドレイ研究所、京都府（補助金活用等）
- 取組
  - ・力の強度や方向など、目では見えないものを、「ベクトル」や「ヒートマッピング」で可視化
  - ・触覚センサーを使い、アバターとリアルな人物の感覚を連動



力の強度と方向を「ベクトル」で表現



力のヒートマッピングを作業対象にプロジェクション



# 10 メタバース空間からロボット操作

- メンバー Halle game lab、京都府  
(補助金活用、けいはんなロボット技術センター実証等)
- 取組 メタバース空間にしながら、  
現実世界にあるロボットを操作できる未来社会づくり
  - ・VRゴーグルを付けたまま、コントローラーでメタバース空間  
(アバター目線) と実写映像 (ロボット目線) を切替
  - ・VRコントローラーで、リアルなロボットを操作
- 成果 2月に実証済、けいはんな万博での披露を目指す





# アジア最大級の国際スタートアップイベント「IVS」 WEB3イベント「IVS Crypto 2023 KYOTO」

日本最大級のクリプトカンファレンス

# IVS CRYPTO 2023

JUNE 28-30 KYOTO, JAPAN

早割 25%OFF!

IVS KYOTO実行委員会

Headline



# メタバース・トラスト・ステートメント 京都宣言



# メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言

メタバースは、空間を超えた交流や現実世界にはない新しい体験、ビジネスチャンスの拡大等に繋がるテクノロジーですが、アバターへのハラスメントやデジタルアセットの盗難、空間のなりすましなどのリスクも潜んでいます。

そこで、業界団体・企業等で構成する「京都府メタバース検討会」にて議論を重ねた上で、一般社団法人CiP協議会（※）と府が中心となって、「メタバースの制作や活用に関わる方々が、セキュアで信頼できるメタバース空間づくりを自主宣言する指針」として策定しました。

※「コンテンツ×デジタル」産業の拠点形成を目的に、通信、放送、IT、コンテンツ、エンタメ、不動産等の関連企業が参画し、設立。  
本協議会の中村伊知哉氏は、内閣府知的財産戦略本部「メタバース上のコンテンツ等をめぐる新たな法的課題への対応に関する官民連携会議」の座長を務める。

## 京都府メタバース検討会

### ■メンバー：メタバース業界団体、教育・観光・ものづくりなどでの活用を目指す企業など

ANA NEO、エスユーエス、NTT QONOQ、NTTコミュニケーションズ、京都産業21、京都市、京都府、京都フラワーツーリズム合同会社、京都府立大学大学院、京都文化NFT、CiP協議会、松竹撮影所、iU 情報経営イノベーション専門職大学、Skeleton Crew Studio、スターマーク、ZOAN JAPAN、テルモピレー、テレコムスタッフ、東映、トーセ、ドコモ gacco、西村兄妹キモノ店、日本デジタル空間経済連盟、PwCコンサルティング合同会社、メタバース、メタバース推進協議会、ワントゥーテン（五十音順）

### ■開催結果

**第1回**  
(令和4年7月22日)  
【メタバースにおける課題の共有】

- ・信用力のあるメタバース空間づくり
- ・トラスト（信用）を担保する仕組みを作ることが大事

**第2回**  
(令和4年12月2日)  
【素案提示後、意見交換】

- ・目的の整理（なぜメタバースか、メタバースで何をしたいのか）
- ・規制ではなく、理念を示すこと

**第3回**  
(令和5年3月15日)  
【宣言の最終確認】

安全性・信頼性の高いメタバース空間づくりを促進するための宣言

# メタバース・トラスト・ ステートメント京都宣言

京都府と一般社団法人CiP協議会では、メタバースの制作や活用に関わる方々が、セキュアで信頼できるメタバース空間づくりを自主宣言する指針として、「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」を策定しました。

## 自由で オープン

01

世界中の誰もが自由にオープン参加可能なメタバース空間の提供と素晴らしいイノベーションの創出を目指します。

## 伝統、 地域

02

日本の長い歴史や伝統に根差した文化の重層性や多様性を発揮するとともに、地域固有の価値を互いに認め合う「場」として進化します。

## 海外

03

国内外の人々と、距離、時間、費用、言語の制約なく価値を共有できるコンテンツづくりを進めます。

## 若者、 子ども

04

暴力的・性的表現や誹謗中傷、社会の分断化等の負の影響に対する十分な配慮により、安全・安心なメタバース空間を実現します。

## 高齢者、 障がい者

05

一人ひとりのライフスタイルやニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる人に優しいメタバース空間の実現を目指します。

## 技術、 研究

06

データをオープンな形でシェアすることで、時間と空間を越えたオープンイノベーションによるテクノロジーの追求と開発を進めます。

## トライ& エラー

07

「リアル」と「バーチャル」の両面から、メタバース空間における最適な技術の普及促進に向けた実証を推進します。

## セキュア& トラスト

08

メタバース空間の価値を最大化するために必要な、プライバシーやサイバーセキュリティ等への適切な対処により信頼の維持・構築に努めます。

## モラル

09

データの真正性や正確性に責任を持ち、継続的な相互調整を担い、公正なメタバース社会の実現を目指します。

## 未来

10

全ての人とモノが国境を越えて、知識や情報が共有され、新たな価値を生み出すことが可能なメタバース空間の未来を創出します。



# メタバース空間で、多様な価値を共有し、新たな可能性を拡げる

## キーワード

「人」「価値の共有」「誠実・安心」



メタバース空間は世界中の人と自由につながり、様々な技術や情報・知識・多様な価値観を共有することができる場です。

メタバース空間で世界中の「人」とつながり、多様な物事を「共有」し、ものづくり世界の新しい可能性を広げてほしいとの意味を込めて、「人」「価値の共有」「誠実・安心」をキーワードとしてロゴマークを作成しました。

**形** 同じ形の「人」を重ねることで、公平に「共有」「分け合う」ことを表し、ロゴマークのシルエットがメタバースの頭文字「M」に見えるように形をまとめました。小さく掲載した場合でも形がわかりやすく、すっきりした印象になるようにしました。

**色** 安心・公平・信頼のイメージのある青を基調に、最先端をイメージした鮮やかな配色で作成しました。グラデーションで色をつけることで、様々な価値が混ざり合って、新たなひとつの形を生み出すことを表しています。

※「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」の遵守を宣言する方は、ロゴマークを自由にご使用（複製、公衆送信等）可能です。